

発 言 通 告 書 < 総括表 >

平成18年 第4回 定例会 代表質問

	発 言 者	発 言 事 項	発 言 要 旨	答弁を求める者
1	高山議員 (自民)	1 特別区のあり方について 2 観光施策について 3 廃プラスチックのリサイクルについて 4 障害者福祉施策について	特別区の再編論について 観光協会組織の充実に向けた具体的な対策について 千代田区の特性を活かした独自のモデル事業の構築及び実施について 障害者就労支援施設の施設運営及び利用者負担に対する支援について	区長及び関係理事者
2	木村議員 (共産)	1, 障害者自立支援法について 2, 教育問題	障害者自立支援法は10月から本格施行となった。障害者と家族の中心要求である応益負担の撤回を、区としても国に求めるべきではないか。 また、利用者負担の軽減、施設への支援強化、地域生活支援事業の充実など、障害者と施設に対して区としていっそうの支援を求める。 教育基本法改定案は憲法に抵触する重大な問題点をもっており、「教育再生プラン」は学校と子どもたちを競わせ、ふるいわけをすすめる内容となっている。これらは、いじめを解決する上でも大きな障害になりかねない。 いま必要なことは、教育基本法を活かすことである。その立場から、競争主義の排除、教師にゆとりを保障、教育条件の整備などを提案する。	区長、ならびに教育長
3	大串議員 (公明)	1、自治体の教育行政のあり方が根本から問われている。いわゆる教育改革である。真に子どものための教育を実現するために区としてどのようにこの教育改革をすすめるのか。 2、改革の具体策として	学校運営連絡会の役割と今後の方向性は、 スクールカウンセラーのさらなる充実を。 中学校でのスクールカウンセラーの拡充は、 小学校への新たな配置は、 メディアリテラシー教育を実施すべき、	区長、教育長、関係理事者